

# 特別支援学級 第3. 4 学年 生活単元学習指導案

児 童 こぼと1組学級3年生2名

4年生1名 計3名

指導者 笹平 恭一

## 1 単元名 「自分がほしいものを買えるようになるろう」

国語科「あったらいいな こんなもの」 (光村図書 2年)

算数科「ひっ算のしかたを考えよう」 (東京書籍 2年)

「大きい数のかけ算のしかたを考えよう」(東京書籍 3年)

## 2 目標

- ・買い物をするために必要なことや、手順を理解して、金銭を用いてお店で買い物をすることができる。 【知識及び技能】
- ・店員と買い物に必要なやり取りをすることができる。 【思考力, 判断力, 表現力等】
- ・買い物を通して、人と関わることよさに気づき、手順に沿って、自分の考えた方法で買い物しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】

### <国 語>

- ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。 【知識及び技能】
- ・「話すこと・聞くこと」において、大事なことを聞き落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて質問したり、感想を持ったりすることができる。 【思考力, 判断力, 表現力等】
- ・粘り強く話を集中して聞いて内容を捉え、学習課題に沿って質問や感想を述べようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

### <算 数>

- ・2～3位数の加法及び減法の計算について、1位数などの基本的な計算を基にできることを知り、それらの筆算の仕方について理解し、筆算の手順を基に確実に計算することができる。
- ・2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 【知識及び技能】
- ・既習の筆算を基に、数の仕組みに着目し、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。
- ・数の概念や既習の乗法計算に着目し、2～3位数×1位数の筆算について考え説明している。 【思考力, 判断力, 表現力等】
- ・2～3位数の加減の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
- ・2～3位数×1位数の筆算の仕方について、乗法九九などの基本的な計算を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

## 3 単元について

本単元では、児童が学習を通し日常でも見通しをもって買い物ができるようにすることを目標とし

ている。「買い物」の学習は、体験的活動（買い物）を好む児童にとって、意欲的に取り組むことのできる単元である。

本単元は、8時間で構成されている。1・2・4・7・8時間目は、体験的活動を中心とした学習を行い、3時間目に、国語科の学習として、お店でのやり取りの仕方を通して、相手に自分の思いや考えを伝える方法を学ぶ。5・6時間目の算数では、計算表を使いながら既習内容を生かして計算の仕方を学ぶ。算数的活動では、2位数の加法や減法の筆算と2位数×1位数の筆算と3位数×1位数の筆算を行ない、その代金を求める。既習内容を生かして学習（買い物）をするためにも、乗法の筆算の定着を図り、買い物の場面で生かせるようにする。

更に、計算後に、合計の代金に合わせてお金を出す上で、金種の理解、様々な種類の紙幣と硬貨の持つ価値を理解しておく必要がある。単元を通して、商品を自分で選び、代金の合計を計算し、買い物することができるようになることをねらいとしている。

時間	1・2・4時間目	3時間目	5・6時間目	7・8時間目
教科		国語科	算数科	
内容	自分で買い物ができるようになるためのスキルを増やす学習 (学習の目的を知る) 買い物の代金に合わせて硬貨を選ぶ学習	買い物をするときの 手順と買い物に必要な話し方を学ぶ学習 (買い物のやり取りの学習)	数の大小の理解と計算表を使って買い物の代金を求める学習	実際に買い物に行つて学習したことを実践し、買い物の良さを学ぶ学習

#### 4 児童の実態

本学級は、知的障がいの3年生2名と4年生1名からなる。比較的近い学年の児童ではあるが、学力差や作業の程度の差が大きい。体験的活動や興味ある学習には意欲的に取り組む反面、難しい問題と感じると「わからない」といってやめてしまったり、問題を最後まで読まずに取り組んだりすることがある。このような実態から、児童の意欲を大切にしながら学習を進めている。1学期には、学級の旗を作るために長さの単位等や長さを測る学習等を行い、友達と協力して長さを測り学級旗を完成させることができた。

児童の特徴と算数の力を見ると以下の通りである。

児童名	児童の特性と算数の力
4年 O. N (知的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3位数×1位数の計算はできている。</li> <li>・3位数×2位数の計算では、一の位の計算のみで、十の位の計算をやらないでしまうことがある。4・7・8の段の掛け算九九の定着が不十分である。九九をはじめから唱えないと答えを見つけるのが難しい。</li> <li>・繰り上がりのあるたし算の筆算では、繰り上がりの数に注目するが、和を既存の数と合わせずに答えを求めることがある。</li> <li>・買い物の学習では、ものの値段を担当に確認しながら買い物をする様子が見られたので、自分で確かめながら買い物ができるようにしたい。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3位数×1位数の計算はできている。</li> </ul>

F. R (知的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3位数×2位数の計算では、手順と異なり、向かい合った数同士の乗法計算をすることがある。</li> <li>・繰り上がりのある筆算では、繰り上がりの数に注目し、正確に答えを求めることができる。しかし、掛け算九九の定着は不十分であり、答えを求める際に、掛け算九九を最初から唱えないと答えられない。</li> <li>・ものの値段を自分で確かめながら買い物ができるようにしたい。</li> </ul>
3年 S. K (知的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2位数×1位数の計算(20×2など)は、簡単な計算はできている。2位数×2位数(20×20など)の簡単な筆算の答えを求めることができる。</li> <li>・3位数×1位数は、筆算の手順を確認し、正しく求めることができるように支援する必要がある。</li> <li>・週末、家族と買い物に行ったことをよく話すことがあるので、買い物に行ったときのイメージを想起させながら学習に取り組むようにしたい。</li> </ul>

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①手順表を見て買い物の手順を理解し、代金を確認しながら買い物をしている。	⑤買い物のために必要なやり取りを行うことができる。	⑨買い物を通して人とやり取りをすることのよさに気付いたり、自分のやりやすい方法で買い物をしようとしていたりしている。
②買い物の場面で、丁寧な話し方で話すことができる。 (国語)	⑥買い物のために大事なことを落とさないように聞き、分からないことを質問したり買い物の感想をもったりしている。(国語)	⑩買い物をする際に集中して話を聞き、買い物のめあてに沿って質問や感想を述べようとしている。(国語)
③買い物の代金を求めるために、2位数の加法及び減法の筆算の手順を理解し、計算することができる。 (算数)	⑦2位数の加法及び減法を、筆算を使って計算し、図や式を用いて説明することができる。(算数)	⑪2位数の加法及び減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考えたことを振り返り、日常生活の中で活用しようとしている。(算数)
④買い物の代金を求めるために、2～3位数×1位数の筆算の手順を理解し、計算することができる。(算数)	⑧2～3位数×1位数の乗法を、筆算を使って計算し、図や式を用いて説明することができる。(算数)	⑫2～3位数×1位数の計算の仕方を振り返り、日常生活の中で活用しようとしている。(算数)

6 指導と評価の計画（8時間）

時間	ねらい	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2	買い物の学習の目的と買い物をするために必要なことを理解する。	・知①（行動観察）		
3	買い物をするときの手順と買い物に必要な話し方を理解する。	・知②（行動観察）	・思⑥（行動観察）	・態⑩（行動観察）
4	10円、100円等が数のまとまりであることを理解し、指定された金額に合った硬貨を選ぶ。	○知①（行動観察）	・思⑤（行動観察）	
5	買い物をするために2位数の加法及び減法の筆算や2～3位数×1位数の筆算を使って計算する。	・知③（ノート分析、行動観察）	○思⑦（ノート分析、行動観察）	
6 本時		・知④（ノート分析、行動観察）	・思⑧（ノート分析、行動観察）	
7	買い物の学習について振り返る。			・態⑨（ノート分析、行動観察） ・態⑪⑫（ノート分析、行動観察）
8	計画表を見て学習活動を振り返り、身に付けた力を実感する。			○態⑨（ノート分析、行動観察） ○態⑪⑫（ノート分析、行動観察）

・指導に生かす評価 ○記録に残す評価

7 本時の指導（6／8）

（1）本時の目標と評価規準と個別の支援

	O. N	F. R	S. K
目 標	・買い物をするために3位数×1位数の筆算の仕方について、2位数×1位数の筆算の仕方を基に考え、説明することができる。（手順表）	・買い物をするために3位数×1位数の筆算の仕方について、2位数×1位数の筆算の仕方を基に考え、説明することができる。（手順表）	ア買い物をするために3位数×1位数の筆算の仕方について、2位数×1位数の筆算の仕方やヒントを基に考え、説明することができる。（手順表）
評価規準	・3位数×1位数の筆算の仕方を、既習の乗法九九	・3位数×1位数の筆算の仕方を、既習の乗法九九	・3位数×1位数の筆算の仕方を既習の乗法九九や

	<p>などを用いて考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2位数×1位数の筆算の仕方に着目し、3位数×1位数の筆算の仕方を考え、説明している。</li> </ul> <p>(手順表)</p>	<p>などを用いて考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2位数×1位数の筆算の仕方に着目して、3位数×1位数の筆算の仕方を考え、説明している。</li> </ul> <p>(手順表)</p>	<p>ヒントを基に考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2位数×1位数の筆算の仕方に着目して、ヒントを基に3位数×1位数の筆算の仕方を考え、説明している。</li> </ul> <p>(手順表)</p>
個別の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>お店でのやりとり表を準備する。</li> <li>硬貨の組み合わせをカードで示す。</li> <li>計算表のヒントに基づいて買い物の代金が求められるように支援する。</li> </ul> <p>(前時の計算表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お店でのやりとり表を準備する。</li> <li>硬貨の組み合わせをカードで示す。</li> <li>計算表を使って自分で買い物の代金が求められるように支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お店でのやりとり表を準備する。</li> <li>硬貨の組み合わせをカードで示す。</li> <li>計算表(3段階計算)を使って買い物の代金が求められるように支援する。</li> </ul> <p>(前時の計算表)</p>

(2) 研究の視点に関わっての工夫

- ① 2～3位数×1位数の乗法の筆算を、計算表を基に考えさせ、説明のモデルを参考に計算の仕方を説明させる。
- ② 2～3位数×1位数の乗法の筆算を、前時学習した計算の仕方を基に考えさせる。

(3) 展 開

時間	主な学習活動	主な発問 (◎主○補) 予想される児童の反応 (「」) 指導上の留意点 (・) 評価 (◇) 視点 (◆)		
		O. N	F. R	S・K
つかむ 3分	<p>1 問題をつかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>買い物の準備をする。</li> </ul>	<p>○今日はどんな学習をしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画表を見て、3人で買い物の学習をすることを確認する。</li> <li>買い物の準備をする。</li> <li>前時の想起：「買い物の方法と計算の仕方を確認する。」</li> </ul>		
		「丁度の金額で払う。」	「丁度か少し多めの金額で払う。」	「商品メニューとお金の種類に気をつけて金額を払う。」
		「2～3位数×1位数の計算をすると求められる。」	「2～3位数×1位数の計算をして答えをたすと求められる。」	「2位数×1位数の計算をすると求められる。」 「やり取り表をみて進めると簡単。」
	2 課題を把握する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 買い物の代金を、計算表を使って求め、説明しよう。</p> </div>		

見通す 5分	3 見通す	<p>○今日の買い物で気を付けることは何ですか &lt;以下のことを確認する。&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品メニューを見て買い物するものを決める。</li> <li>・買い物を手順表で確認し、計算表で代金を求める。</li> <li>・店員役とお客に分かれて、買い物の練習をする。</li> <li>・どのように代金を計算したか先生に説明する。</li> <li>・計画表を見て学習する。「買い物練習の時間」</li> </ul> </div>		
自力解決 30分	4 買い物をする。(自力解決) ・店員1名、お客2名に分かれて買い物を行なう。	<p>○買い物でのやりとりはどうしたらいいですか</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;やり取りの流れ&gt;</p> <p>(店員) いらっしゃいませ。 (客) お願いします。これ、ください。</p> <p>(店員) ○○が○○円、○○が (買い物かごを渡す)</p> <p>○○円で合計○○円になります。</p> <p>(客) お願いします。(お金を払う)</p> <p>(店員) (商品を渡す)</p> <p>ありがとうございました。</p> </div>		
		<p>◇【知・技】</p> <p>3位数×1位数の筆算の仕方を、既習の乗法九九などを用いて考えることができる。</p>	<p>◇【知・技】</p> <p>3位数×1位数の筆算の仕方を、既習の乗法九九などを用いて考えることができる</p>	<p>◇【知・技】</p> <p>3位数×1位数の筆算の仕方を既習の乗法九九やヒントを基に考えることができる。</p>
		<p>計算表を使って代金を求める。 (ヒントあり)</p> $\begin{array}{r} 160 \times 2 = (320) \\ 80 \times 2 = (160) \\ \hline 480 \end{array}$	<p>計算表に計算して代金を求める。 (自分で)</p> $\begin{array}{r} 160 \times 2 = 320 \\ 80 \times 2 = 160 \\ \hline 480 \end{array}$	<p>計算表に計算で代金を求める。(ヒントあり3段階計算)</p> $\begin{array}{l} (160) \times (2) = 320 \\ (80) \times (2) = 160 \\ 320 + 160 = 480 \end{array}$
		<p>◆【視点②】</p> <p>ヒントをもらいながら前時の手順表を見て計算できているか。(前時の手順表)</p>	<p>◆【視点②】</p> <p>前時の手順表を参考に計算しているか。(前時の手順表)</p>	<p>◆【視点②】</p> <p>前時の手順表で教師と確認しながら計算しているか。 (前時の手順表)</p>

		<p>◇【思・判・表】 2位数×1位数の筆算の仕方に着目し、 3位数×1位数の筆算の仕方を考え、説明している。 (手順表)</p>	<p>◇【思・判・表】 2位数×1位数の筆算の仕方に着目し、 3位数×1位数の筆算の仕方を考え、説明している。 (手順表)</p>	<p>◇【思・判・表】 2位数×1位数の筆算の仕方に着目して、 ヒントを基に3位数×1位数の筆算の仕方を考え、説明している。 (手順表)</p>
<p>まとめ 4分</p>	<p>5 学習のまとめ</p>	<p>◎買い物をするときどんなことに気がつけましたか。</p>		
		<p>「計算を正しくして、代金を求めました。」 「店員さんに伝えたいことをしっかり伝えました。」 「お客さんに優しく接するようにしました。」</p> <p>・買い物が終わったら役割を交代して買い物をする。 ○計算の仕方を説明してください。 ・まず、○○の代金を求めて、次に、○○の代金を求めて合計を求めました。(説明モデル1) ○他に計算方法はありませんか。 ・まず、○○と○○の合計を求めて、次に合計を×2(2倍)して求めました。(説明モデル2)</p> <p>◆【視点①】 上記の説明モデルを参考に計算の仕方を説明しているか。</p>		
		<p>○今日学習したことをまとめましょう。</p> <p>○買い物をしたときにどんな工夫をしましたか？ 「計算表を使って代金を求めました。」 「1つ目の代金を求め、2つ目の代金を求め、2つの代金を求めました。」 <math>150 \times 2 = 300</math>、<math>250 \times 2 = 500</math> <math>300 + 500 = 800</math> (円) 「2つずつ買ったものは、もの値段を合わせてから2倍しました。」 <math>(150 + 250) \times 2 = 800</math> (円) 等</p> <p>&lt;まとめ&gt; 商品メニューと手順表と計算表等を使って計算すると正しく計算することができる。</p>		

ふ り 返 り 3 分	<p>6 振り返り 発表する</p> <p>7 次時の学習を 確認する。</p>	<p>○学習感想を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かったことやできたこと、これからがんばりたいことを発表させる。 (学習感想の交流を行う)</li> <li>・次時は、買い物について振り返ることを確認する。</li> </ul>
----------------------------	--	--

## 8 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>お店やさんごっこで学ぼう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>課題</b> 買い物の代金を、計算表を使って求め、説明しよう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; height: 80px;"> <p>買い物の手順</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; height: 80px;"> <p>まとめ</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>価格表</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px 0;"> <p>絵と金額 150 円</p> </div> <p>100 円玉 1 個と 50 円玉 1 個</p> <p>100 円玉 1 個と 10 円玉 5 個</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>買い物の計算の仕方</p> <math display="block">160 \times 2 = 320</math> <math display="block">80 \times 2 = 160</math> <math display="block">320 + 160 = 480</math> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; height: 80px;"> <p>振り返り</p> </div>